

3 学校別の体型については、各年齢共一般に僅少な不規則な差異を示すのみで著差はみられない。年齢別の体型については、身体示数は3年齢間に著差はみられないが衣服寸法に関係のある項目はいずれも加齢と共に漸増の傾向を示している。各年齢の体型を成人女子と比較すると、身体示数についてはいずれも一般に成人女子より幾分優れている。衣服寸法に関係のある項目では、3年齢共身長は大差ないが、背肩幅は優位、その他の項目はいずれも成人女子より下まわる傾向にあり、特に前腕丈は著しく劣っており、この年齢期特有の体型を形成するものようである。以上の結果に基づき、年齢別に次の推定公式を用いて目的とする部位を推定し、衣服寸法の基準を設定してみた。

$$\hat{Y} = by_1 \cdot 2X_1 + by_2 \cdot 1X_2 + b$$

但し {添え字 1 身長
 {添え字 2 胸囲

19 日本人青年女子の体型に適する衣服寸法の基準設定に関する研究

お茶の水女子大 柳沢 澄子
 増田 順子
 須貝 容子
金城学院大短大 益田貴美子

1 私共は、青年女子の体型に適する衣服寸法の基準を設定する目的をもって、昭和31年より高校女子生徒の生体計測に着手、調査校別（3校）の結果については既にそれぞれの担当者が報告した。今回はその後の資料をも加え、5校905人の資料を総括整理を行った。

2 身体計測値並びに示数22項目によって、学校別・年齢別に体型の差異を観察し、次いで各体型に対応する衣服寸法の基準設定に関し検討を加えた。